

こだま新聞

第172号
平成22年2月

医療にもジェンダーが

ジェンダー（社会的文化的役割としての性）という言葉が知られるようになってからだいぶ経ちました。八郎潟青年者異業種交流会（メビウスでも平成10年3月に秋田大学の澤井セイ子教授を講師としてお迎えし、八郎潟町で公開講演したことがあります。澤井先生は大学を退職されて四国の方で活躍されているそうです。

さて、このジェンダーですが、社会的な問題だけでなく医療の問題としても取り上げられていました。

医療分野でのジェンダーは天野恵子先生（医師）の言葉を借りると「病気の発生は遺伝子だけで決まるものではなく、性ホルモンや環境の影響を大きく受けて発症する」ということだそうです。

医療へのジェンダー導入は昭和35年のサリドマイド事件が端緒となり、平成13年のアメリカ国立衛生研究所が14の提言として発表した「21世紀健康科学研究アジェンダ」によつて大きく前進したそうです。

虫歯の罹患率も女子のほうが高い。

3. 思春期
思春期性の歯肉炎や若年性歯周炎の発生は女子の割合が高い。

4. 成人期
健康な歯肉の比率は女子のほうが高く進行した歯周炎は女子の割合が低いという調査結果があります。虫歯の治療されている割合は女性のほうが高い。

残存歯数は50歳から減少するという傾向は男女差がないが、減少する割合は女性のほうが高い。

5. 更年期
ドライマウスの発生や顎関節症の発生は女性の割合が高くなっている。

当院では男女差を意識して治療することは少ないですが、顎関節症やドライマウス（口の乾燥）、骨粗鬆症など女性に多く見かける症状については確認しながら対応しています。

日本でも性差を考慮した

浦の虎子物語

研究が始まっているようですが、薬の投与量などまだまだ細かな分野においては対応が遅れていると感じました。

今月からABS秋田放送を通じて「浦の虎子物語」のCMが放送されています。これは文化庁の助成金で行われている事業で秋田市以外では唯一八郎潟町で開催される公演です。

出演者、裏方とほとんどが八郎潟町の人たちが参加しています。

シナリオは八郎潟町出身で秋田市の劇団スカンポに携わってきた小野健爾先生（路上ミュージカルでおなじみ）、作曲はピアノ教室をしている宮野



今月の行事

2月

- 忍さん。振り付けは小野恵子バレエ研究所、盆踊りは浦大町町内会の皆さんと13区町内会の皆さん。裏方はNPO法人「浦城」の歴史を伝える会、メビウス、クライン、八郎潟町教育委員会など多くの人が参加しています。ちなみに私も実行委員会事務局の補佐として参加しています。開催は2月14日です。お楽しみに。
- 2日 3歳児健診
- 2日 CM制作委員会
- 4日 虎子物語 合同練習
- 5日 メビウス定例会
- 6日 大潟村国際料理交流会
- 11日 建国記念日 休診
- 12日 午後休診
- 12日 潟上南秋学校保健会
- 14日 虎子物語 公演
- 16日 北都銀行支店長歓送迎会
- 19日 安全安心まつりフォーラム
- 20日 午後休診
- 20日 男鹿市立病院医師会芸術講演会
- 23日 歴史と文化講演会